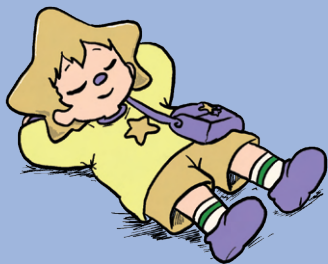




月刊
一辺境



発行元：水星
発行日：2026.07

月刊 一辺境 7

Magazine for everyone who loves SUISEI Inc.

・ 定番連載 ・

BAR
やうこみ

マダム・モーハの
点館

SUISEI
図書館

スナック
えなり

・ 巻頭特集 ・

『水星音博』の
SUISEI ONPAKU

仕掛け人・中村 P に迫る

Suisei Friends

SUISEI GALLERY 2026



ここは水星ギャラリーです。
最近の近況をみなさんに報告しますか？

はい

いいえ



『水星音博』の 仕掛け人・中村 P に迫る

—社員総会を「会社を動かす熱狂の装置」へ設計する—

2026年6月8日、株式会社水星・CHILLNNの社員総会が開催されました。その名も「水星音博」。思い思いの“フェス風コーデ”に身を包んだメンバーたちが、受付で受け取ったチケットと「水星音博」オリジナルフェスタオルを手に、地下空間を埋め尽くす中、盛り響いたのは、生バンド演奏！

なぜ私たちが、社員総会にここまで力を注ぎ作り込むのか。「そこには、形骸化しがちなインナーイベントをいかにして組織のエンゲージメントを高める装置へとアップデートするか」という挑戦があります。

今回の社員総会運営委員・総合プロデューサーを務めた中村健太（中村 P）の秘密な設計や思い、泥臭い舞台裏、そして運営委員の西岡が密着しました。



なぜ“音楽フェス”？ 『水星音博』でリアルバンドが 音を奏でるに至った背景



西岡：改めて、社員総会「水星音博」お疲れ様でした！中村さんのポテンシャルとプロデュース力が過去最高に発揮された総会でしたな。当日の熱気、今思い出しても心が沸き立ちます。上期の社員旅行と下期の社員総会の年2回、いつしか毎回コンセプトを設けていますよね。これっていつからだだったかと気になって、遡ってみたのですが、社名を変更した2022年6月に開催した「水星移住計画」以降なんですよ。直近では、「水星万博」「水星いい人すぎるよ展」「SUISEI QUEST」など、実にバラエティに富んだコンセプトやクリエイティブを生み出してきたわけですが、今回の“音楽フェス”、名付けて「水星音博」というコンセプトに行き着いた経緯や背景から、振り返っていただければと思います。

中村：まず、このコンセプトにおいて重要なキーとなったのが、今回の会場「目田ギャラリー」です。コンクリート打ちっ放しの無機質な地下空間が特徴的なので、翔子さんから「レイブパーティーみたいなのをやったら絶対に面白い」というアイデアが出て。ただ、あまり「レイブ」に縛りすぎると、各種クリエイティブや

制作メンバーの肩身が狭くなってしまいます。だから、音楽を広く捉えて「音楽フェス」というコンセプトに行き着きました。「水星音博」は、オフィスからもほど近い梅小路公園で毎年夏に開催されている「京都音楽博覧会（京都音博）」へのオマージュです。

西岡：水星 / CHILLNN ビルと同じく、花屋町通りに面したオフィスからわずか徒歩1分の場所にあるこちらのギャラリー、オフィスメンバーは毎日のように前を通って通勤しているのですが、かねてより翔子さんが「ここで何かしたいね」とおっしゃっていた場所でもあるんです。翔子さんと今年の総会会場についてプレストする中で、こちらが第一候補に上がり、他の候補も検討しながら、最終的に決定しました。また、これからお話ししていく、クリエイティブやパフォーマンス、フードなどのコンテンツの細部にまで力を注いでこられた背景には、今回会場費を抑えて、予算配分を「コンテンツ制作」「体験の質向上」に大幅に割けたことも大きなポイントでしたね。今回最大のインパクトは、なんと言っても“リアルバンド”でのオープニング。これまでは、中村さんの自

主制作ムービーからスタートするのが恒例で、これも毎回クオリティとエンタメ性の高さが大好評ですが、今回あえて「リアルバンド」を発案されたのはなぜですか？

中村：色々やり尽くしてきたなという感覚があって、ぶっちゃけ僕自身が「動画に飽きていた」というのも本音です（笑）これまで、その年のコンセプトに沿って様々なパロディ動画を作ってきましたが、組織が大きくなるにつれて、全社的に共通認識が生まれるような元ネタも枯渇しつつあり、マンネリ化が否めなかった。それに、映像を流すだけだと、どうしても参加者が座って見るだけの「会議スタイル」になってしまう。本当の一体感を作るには、参加者全員がアクティブに巻き込まれる仕組みが必要だと思ったんです。今回せっかく全館貸し切りかつ地下空間があるのだから。そして、社内で楽器ができるメンバーも募れる。これ、リアルバンドを実現できるな、と。

西岡：宴会や二次会の余興でならともかく、普通の企業の社員総会のオープニングアクトとして、4つの生バンドを完全内製で仕込むというのは、なかなか大きな挑戦だったのではないのでしょうか。もしうまくいかなければ、微妙な空気からのスタート...という惨事にもなりかねない。

中村：まさに。クオリティが低ければ、新入社員と古参メンバーの間に温度差が生まれて、置いてけぼりが発生してしまいます。でも、カラオケ音源を流してただ歌って踊るだけなら、それこそ「寒い余興」の範疇を出ないと思って。だから、やるなら余興レベルではなく、イベント全体の核となるくらいの本格的な演目として成立させるレベルでなければ、オープニングアクトをやる意味がないと思っていました。



「滑らない確信」を形にする、 緻密に仕込まれた プログラム構成



西岡：結果、スタートの盛り上がりは過去最高だったのではないのでしょうか。会場やメンバー全体の熱狂を引き出すために意識したことはありますか？

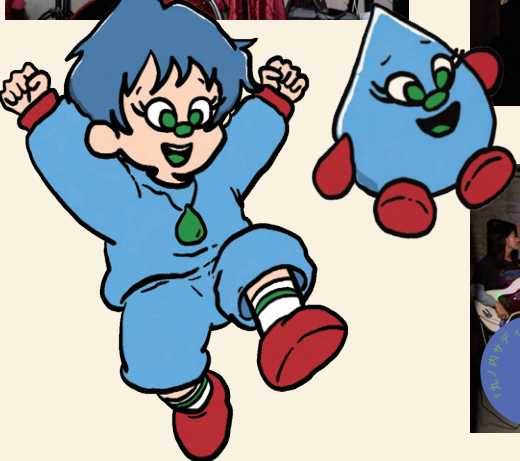
中村：選曲とキャストिंगには、明確なロジックを敷きました。まず、登壇メンバーが特定の事業部に偏らず、満遍なく参加できること。そして、新入社員から古参まで、全員が等しく参加でき、楽しめること。水星のメインボリューム層であるアラサー世代に刺さる「平成の名曲リバイバル」をテーマに、会場の熱量が自然と高まっていくストーリーを意識して4曲のセットリストを組みました。オープニングは、イントロだけでフェスの空気をつくれる『熱帯夜 / RIP SLYME』。CHILLNNの熱血漢メンバーによるパフォーマンスで、一気に会場をイベントモードへ引き込みます。続く『さくらんぼ / 大塚愛』では、「もう一回!」のコール&レスポンスを軸に観客を巻き込み、会場全体の一体感を生み出しました。開催日がちょうど嵐の解散直後というタイミングもあり、中盤には「A・RA・SHI / 嵐」を配置。実は『Love so sweet』と最後まで迷いましたが、今回はデビュー曲を選択。誰もが知る振り付けとパフォーマンスで、この日一番の盛り上がりをつくることができました。そしてラストは、水星代表・龍崎と中高時代の同級生メンバー（もちろん全員水星メンバー!）による『丸ノ内サディスティック / 東京事変（椎名林檎）』。歌詞をすべて水星仕様に書き換え、創業から現在までの歩みをカラオケ風の歌詞映像とともに振り返る演出に。笑いだけでは終わらず、水星らしさを感じられる締めくくりを目指しました。

西岡：私も、翔子さんの同級生としてステージに立たせていただきましたが、フルで替え歌にするのは正直不安もありました。歌詞を聞き取ろうとして、オーディエンスの動きが止まってしまうり盛り下がってしまうのではないかと...でも、ここでも中村さんが作ってくださった会社の思い出写真入りカラオケ風歌詞映像があったおかげで、無事に盛り上がりを持続したままオープニングアクトを終えることができました。出演するメンバーは、もちろん通常業務を抱えながらの挑戦です。多忙なメンバーたちへの最初のオファーから、各チームをうまくまとめあげる秘訣はあるのですか？

中村：メンバーからは最初「冗談かと思った」「できるわけない」とだいぶ渋られましたね（笑）でも、僕は冗談を言わないので、最初から本気です。どういうバンド編成で、どういうセットリストにすれば盛り上がり

る場を作るか、ある程度は最初から頭の中に描いていたし、できる確信はありました。例えば、各曲の尺を、ボーカルは歌いやすくオーディエンスはダレないくらいのちょうど良い長さにカット・調整したり、テレビ番組の映像を調べて演奏カットとして参考になるものを逐次バンドメンバーに共有したり、演出台本をテキストに起こしたり...人に何かを依頼する時は、そこまで含めてやるべきだと思っています。そうすると、最初決っていたメンバーたちも乗り気になってくれて、むしろ楽しんでくれた。ボーカルとバンドの全体合わせは、当日直前が初めてかつ一発勝負でしたが、メンバーが日々業務で鍛え上げているチームワークと土壇場力、ホスピタリティを発揮してくれました。本番も、徹底的な事前準備と、現場の裁量で臨機応変にテンポをコントロールしたことで、ダレ場を作らずに良いテンポ感で駆け抜けることができてよかったです。

西岡：投げて丸投げにせず、メンバーが「やるだけ」の状態になるまでです。丁寧にディレクションと伴走があったからこそ、出演メンバーも退場後や休日にも自主的に集まって練習に励んでくれて、あのクオリティまで持っていけたんですね。中村さんも吹奏楽部出身の経験を活かして自らドラムを叩いてくださっていてカッコよかったです。



水星/CHILLNN に宿る クリエイター魂が、 フェスの本物感を底上げ



西岡：フェスとしてのクリエイティブへのディテールの宿らせ方も凄まじく、HOTEL SHE、の原さんが、美大出身の経験と抜群のセンスでデザイン・制作してくれた KV やグッズは大変好評でした。参加者アンケートで、クリエイティブの満足度は「平均 5 点（5 点満点）」という驚異的な結果にも表れています。

中村：クリエイティブも、「フェス」を名乗るからにはフェスらしいものが作りたいですね。まず入場チケットは、チケットとしてその場で終わってしまうものではなく「座席番号入りチケット風ステッカー」に。スマートフォンケースの裏に収まるサイズ感で、総会終了後の日常の中にもイベントの余韻が実用的なデザインとして残り続ける設計にしました。そして、毎回総会のノベルティとしてはステッカー・冊子系の印刷物が定番でしたが、今回は、フェスと言えはの「フェスタオル」を制作・配布。ライブ中の統一感も期待したアイデアで、実際みんなオープニングから 1 日中使ってくれている様子が見れて、嬉しかったですね。



西岡：そして、水星として初めてのオリジナルキャラクター「スイちゃん」「セイくん」も誕生しました。「フェスのアイコンとなるマスコットが欲しい」という中村さんの提案からスタートしたのですが、実は、オリジナルキャラクターの制作は去年の総会で案こそは出ている結局実現できなかった悲願でもあったんです。これも、中村さんの原案を元に原さんがデザインしてくれました。原さんのインスタのストーリーでも、手書き制作の変遷を何度も載せてくれていたのを見ていたので、完成した時はなんだか親心のような感慨深さがありました...アンケートでも、スイちゃんセイちゃんグッズ待望の声が寄せられており、Slack スタンプ化されて日々社内チャットでも登場している、すでに人気キャラクターになっていますね。



中村：最初は僕が生成 AI を使って、「愛・地球博」のモリゾーとキッコロのイメージで、水星にちなんだキャラクターのプレストを繰り返して、プロトタイプを作っていました。そのまま AI で仕上げることもできたのですが、繰り返し生成してもいいまいちしっくりこなくて。これを見た原さんのクリエイター魂に火がついて「私にやらせてください!」と、自ら手を挙げてくれたんです。

静止画のキャラクターだけではなく、ライブや DJ の背景に映す VJ (ビジュアルジョッキー) 映像も作りたかったのですが、また原さんが何コマも手描きしてくれたルーブアニメーションを元に、僕が、AI 生成したサイケデリックな空間の中をスイちゃんたちが歩き回る VJ 映像として完成させました。



西岡：まさに、原さんの手仕事と中村さんのテクノロジーとのコラボレーション！将来的には公式 IP 展開マスコットや立体シールなどのグッズ化も視野に入れていますね。プロモーションとして制作した「水星音博特設 Web サイト」でも、動くスイちゃん・セイちゃんが使われていましたね。総会用のサイトを作るというのも今が初の試みですが、CHILLNN のエンジニアの武井さんの力をお借りして、イベント情報はもちろん、カウントダウン機能やゲーム機能もついた、フェスらしいホームページになりました。

中村：今は AI を使ってコーディングを行うパイプコーディング技術が進んでいることもあって、ウェブ制作にかかる時間的・精神的コストが格段に下がっているんです。いちからサイトを組むような、以前なら工数

がかかりすぎるなと躊躇するレベルの依頼でも、今回は武井さんに伝えてわずか 1 日後には、完璧なサイトのたたきが上がってきました。CHILLNN の予約システム構築などで磨かれた、僕らの技術的連携と阿吽の呼吸があるからこそですね。外注を一切使わず、AI を泥臭く手懐けて最小コストで最大のクリエイティブバリューを生み出す。この意思決定と開発の軽やかさは、まさに水星 / CHILLNN ならではの強みだと思います。

西岡：総会中盤の、新入社員紹介を兼ねた「M ステ（ミュージックステーション）風パロディ」のサプライズ演出も、会場が笑いと驚きに包まれました。司会の飯嶋さん・福岡さんと我々との打ち合わせの中で出てきたアイデアでした。通常のパロディなら、事前に M ステ風に撮影した動画を流すだけでもできたと思うのですが、それでは終わらないのが中村 P。技術的な仕掛けもすごかったです。

中村：今回の音楽コンセプトと司会のお二人の圧倒的なエンタメ力を掛け合わせ最大限活かすようなプログラムを考えていたところ、ギャラリーの 1 階から地下へ降りていく長い階段の動線を思い出して、「ここを M ステのあの階段に見立てて、新入社員がお気に入りの曲で降りてきたら面白いのでは」と閃きました。そして、この際、「生放送」の部分も落とし込んでやろうと、「リアルタイム合成配信」という技術的な挑戦もやってみました。リアルタイムの生映像に、M ステ風のロゴやスイちゃんセイくんの VJ、発表者の名前テロップを、その場で合成して、そのまま Zoom で生配信する。そして、欠席者にも、あの場の熱狂と空気感を画面越しにも伝えることができました。

西岡：会場でも Zoom の画面でも、本当にテレビの生放送を見ているようなハラハラ感と本物感がありました。M ステという圧倒的な共通認知と、タモリさん役の飯嶋さん、女子アナ役の福島さんの抜群のトークのおかげで、盛り上がりの中、新入社員メンバーも緊張せずに前に立てたのではないかと思います。



フェスの熱狂と コミュニケーションを加速 させる、「体験型フード」戦略

西岡：総会後のアフターパーティは、ただのケータリングではなく、その場で仕上げて提供されるスタイルという、「リアルな食体験」で大いに盛り上がっていました。まず寿司は、出張寿司専門店の「くも助」さん。こちらは、実は前回の総会で予算の都合上、泣く泣く諦めた経緯もあったので、個人的には念願叶った思いでした。プロの板前さんがその場で握ってくださる特別感に、メンバーも喜んでいました。そして、カレーも、オフィスメンバーの間では有名な近隣の名店「むじゃら」さんに出張出店をお願いしました。



中村：まずは「フェス飯といえどカレーでしょ」という発想でしたが、僕が直接お店に行って熱意を伝えたら快諾していただきました。当日、地下空間に漂うスパイスの香りが一気にフェス感を加速させてくれました。後日、ご挨拶に伺ったときも「本当に楽しかった」と言ってくれて嬉しかったです。お寿司・カレーの出店に加え、マイブームということもあり、お手製でタコスも作りました。タコスは翔子さんもハマっておられて、今回も自らカルニタス（豚の塊肉をたっぷりのラードや香辛料などと一緒じっくり煮込んだ料理でタコスの具材としても人気）を一晚中かけて仕込んでくださいました。

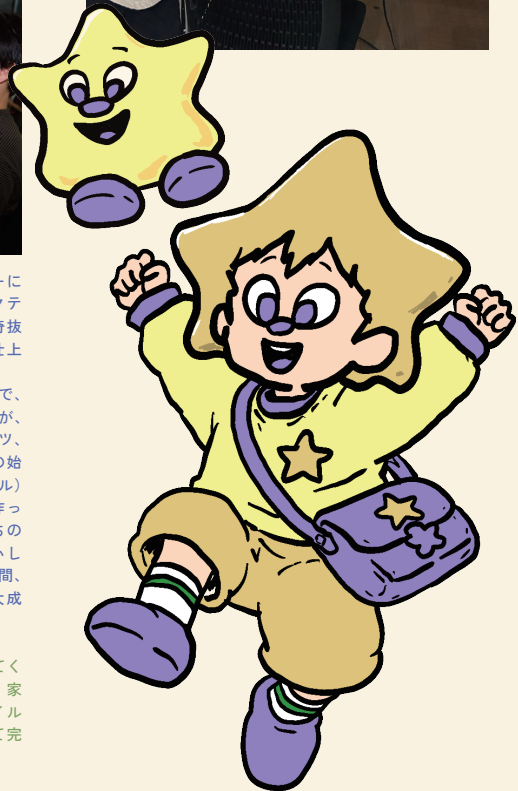
西岡：前日はオフィスで生地と具作り、タコス製造工場と化していましたね。大量の粉から大量の生地のタネが爆誕した時は「これは終わるのだろうか」と思いましたが、それも含めて良い思い出です。手を動かして泥臭くやりきるという、水星の DIY 精神がフードでも体现されていました。水星のシェフでもある中村さん（※中村さんが不定期で振る舞ってくださるお料理やデザートをオフィスメンバーはいつも楽しみにしています）の腕がまた光っていた場面でした。



中村：ドリンクブースでは、香林居メンバーがバーに立ち、オリジナルカクテルを提供。オリジナルカクテルのレシピは僕が監修しましたが、AI が弾き出す奇抜なレシピを微調整して、フェスにぴったりの味に仕上げています。パーティの後にオフィスへ移動して行われた二次会で、ラストを彩るビッグサプライズとして登場したのが、当日まで完全に隠されていたシークレットコンテンツ、「お菓子で作られた香林居」の建築模型です。ことの始まりは、プロデュース事業部の木村七音流（ナイル）さんとの雑談で、「大学時代、お菓子が建築模型を作ったことがある」と言ったのを聞いて「お菓子でうちのホテルの模型を作ってみてよ」と半分ノリでお願いしたところ、俄然やる気になってくれて。お披露目の瞬間、一同から大歓声が上がったときは、「サプライズ大成功！」と後ろでほくそ笑んでいました。

西岡：ナイルさん、合計 18 時間もかけて作り上げてくれて、当日も壊れないように細心の注意を払って、家からタクシーで運んできてくれたんですね。ナイルさんの努力が、メンバー全員の驚愕と賞賛によって完

全に報われた瞬間でした。



「水星音博」に光る 「中村 P の プロデューサー哲学

西岡：今回の「水星音博」を通じて、同じ運営側として伴走させてもらったからこそ、改めて中村さんの圧倒的なプロデュース力を目の当たりにしました。

中村：アイデアを出すだけのプランナーなら、誰でもできます。「音楽フェス風でやろう」「リアルバンドをやろう」「M ステ風にしよう」「お菓子のホテルを作ろう」...言うのは簡単ですが、実行するメンバーには多忙な日々の中、準備の負担や「滑ったらどうしよう」という不安もかけることになる。だからこそ、プロデューサーには、「こうすれば必ず盛り上がる」という具体的な完成形のイメージと、その実現への確信が求められる。その完成形をメンバーに明確に示し、迷いなく進める状態をつくることこそが、プロデュースすることだと思っています。

西岡：丸投げせずに伴走しける中村 P の徹底的な準備とマネジメントで、この壮大な総会プロジェクトを駆け抜けることができました。それは、参加者アンケートでも、満足度は過去最高レベルを記録したことからも伺えます。

オープニングのパフォーマンスですごく盛り上がっていたのが、これまでの総会の中で一番一体感を感じれたので嬉しかったです！自然といろんな人と話すことができました。

何ヶ月も前から準備してくださったみなさんありがとうございました！史上最強な感じがしました！とても楽しかったです！！！！

オープニングの演者たちのインパクト。歌やダンスもそうですが、生演奏・オリジナルのMVや歌詞など細部までこだわが見え、これが水星だ〜と思いました。

今回も最高でした！！社員旅行も楽しみです！！

お忙しい中、こんなにも充実した時間を、あれだけ沢山のメンバーのために提供いただき、本当にありがとうございました！
今期も頑張ろうと背中を押してもらえた会でしたし、オフラインで集まれることで仲間がいることを実感できた会でもありました。

音楽を通して、みんなの特技を知ることができたのが嬉しかったです。知らない一面が見られるのは総会のとてもいいところだと思いました。

本当にいつもありがとうございます！毎回の総会がとても楽しく刺激になっています。自分もやれることがあればなんでもやります！

みんなでバンドやったこと、一生忘れないよ

過去最高の総会でした。また1つハードルが上がったと思うので、一回下げても大丈夫だと思います。笑

AI時代にも水星は感情と身体性の良さを提供できる

総会の準備、大変だったと思いますがいつも想像以上のものを提供いただきありがとうございます！近い、美味しい、面白い、カッコいいと最高の時間でした。

スイちゃん、ホシちゃんですが、公式就任いただけませんか？
めっちゃ可愛いです。このまま継続してくれたら嬉しいです。
またチルンのキャラクターがいまっせん、次こそ誕生すると嬉しいなあ、なんて思っています😊

今回も非常に楽しく貴重な機会をありがとうございました！準備等なんでも手伝いますので、今後ともよろしくお願いいたします😊

これまで画面越しでしか知らなかった他の事業部・拠点の方とたくさんお話できたことがとても嬉しく、刺激にもなりました！

パフォーマーが多くてすごい！エンターテイナー集団の水星最高！

初参加でしたが、会社の事をたくさん知れた上に、みなさんと交流もできとても有意義な時間でした！企画から運営までありがとうございました！

本当にお疲れ様でした！びっくりするほどの盛り上がり、熱狂でした。準備大変だったと思いますがありがとうございました！

中村：メンバーからの熱い感想やフィードバックを見ると、会社のインナーイベントが組織開発において重要であることも改めて感じます。
これまでの「内輪ネタの面白映像で場を温める」程度のオープニングから打って変わり、「ちゃんとフェスをやってみる」というチャレンジングな意思決定を実現してみても、いつもより全員の団結感が強まった実感がありました。全社員が集まる貴重な時間も限られる中、各々帰った後も余韻の残る社員総会に出来たのではないかと感じています。準備も大変なので毎回は難しいかもしれませんが（笑）、結束力が高まり、社員全員が前向きに仕事に取り組める空気を作る構成をこれからも考えていきたいと、改めて思っています。

西岡：早くも冬の社員旅行や来年に向けた動きもありますが、私も中村 P の助手として全力で務めます！上がり続ける期待値をも超える面白いものを生み出し、また最高の景色を見られることを、これからも楽しみにしています。

BAR

やり込み

今庄マスター:前田さん、いらっしゃいませ。
今日もお疲れ様です。

前田:こんばんは。マスターとしての今庄さん
なんてなんだか新鮮ですね。

今庄:オフィスではなかなかゆっくりとはお
話できないので、今夜は前田さんについ
て色々とお伺いできるのを楽しみにしてい
ます。まずは好きなお飲み物をお伺いし
ましょう。

前田:では…おすすめの中国茶はあります
か?

今庄:ちょうど、前回ゲストの実可子さんに
教えてもらったお茶専門店「7T+」から取
り寄せたばかりの「石古坪烏龍」がありま
す。生産量の少ない貴重な中国茶だそうで
すよ。…どうぞ。それこそ今日は、前田さん
の「中国語へのやり込み」についてもぜひ
お聞きしたいと思っています。

前田:最近休日は日本語をほぼ喋ってな
い日もあるくらい、中国語中心の生活をし
てます(笑)東京から引っ越してきたこと
もあって、近くに日本人の友達がいっぱい
いないので、中国人観光客の人と会ったり、
中国人が多く住んでいるエリアのガチ中華
に行って中国人の店員さんと話したり、中
国に住んでいる友達とチャットしたり…中国
語の勉強をすることがもう癖になっちゃっ
て、やってない時は「勉強してないな〜」
と思って落ち着かないようになってしまっ
て。

水星タウンの某所、月に一夜だけオー
ペンするバーがある。「BAR やり込
み」、ここは、何かに魂を燃やし、ど
こまでもマニアックに世界を深掘りす
る「やり込み人」たちが夜な夜な集う
場所。今庄マスターが差し出す極上の一
杯と共に、今宵のゲストのやり込み
を心ゆくまで深掘りしていこう。

今庄:ものすごく理想的な語学学習の取り
組み方をされていますね。ある程度できる
ようになって満足するようなことのような趣味
とは違って、語学はそう簡単に満足するところ
までいきませんから、深いですね。前
田さんは、ハマると深くのめり込んでいくタ
イプですか?

前田:やり込むと決めたら全力のタイプで
すが、一方で、熱しやすく冷めやすいタイ
プでもあると思っています。ただ、中国語
だけは長く熱が続いていて、水星に入
社する直前の 2025 年 11 月頃から始めた
のですがまだまだ終わる気配もないので、
止まる所を知らなすぎて自分でも驚いてい
ます。

今庄:熱いですね。仕事も忙しい中、マー
ケティングの実務や知識のインプットなどの
仕事のための勉強とプライベートの中国語勉
強と、どうバランスをとって両立されている
のでしょうか?

前田:土日は好きな中国語をやる時間にし
ていますが、平日でも、語学学習なら両
立する方法はたくさんあるなと思いました。
今の時代、休み時間にサクッとレッスン受け
られたりするし、iPhone や PC の言語設定
を中国語にするなど生活環境そのものを中
国語にしちゃうとかも一手ですね。あとは何
か別の分野の勉強を学びたい言語でやっ
ちゃうとか。例えば、英語を勉強しながら、
別の時間にさらにマーケティングを勉強する
のって、大変で面倒じゃないですか。それ
なら、英語や中国語を使ってマーケティング
を勉強すれば同時に勉強できて一石二鳥

だな!と。そういう合わせ技になるようなボ
イントを見つけてやっています。

今庄:なるほど!好きな勉強と仕事に必要な
勉強をうまく掛け合わせるのは、
理にかなったやり込みノウハウですね。普
通の人がそれをやろうとすると、毎日ずっと
修行のようになってしまいそうですが…
(笑)

前田:僕は、暗記すること自体が楽しくて
好きなんですよ。最近、もはやスマホ
があれば暗記しなくても生きていけるじゃ
ないですか。そういう時代だからこそ、暗
記をするって脳を贅沢に鍛えている感じが
して気持ちいいんです。TikTok をスクロ
ールして刹那的なドーパミンを消費するのとは
逆の、ドーパミンに頼らない快楽が得られ
るってすごく贅沢なことだなと僕は思っ
て。同じ音声を何回も聴いて、「あー聞き取れ
なかった」「うわ、これ覚えられてなかった!」
と熱くなれる時の自分がなんか好きです。

やってもやっても知らない単語が出てき
て、思うように話したり読み書きしたりでき
ないと悔しくて、悔しさという薪が投入され
続けているような感覚です。

今庄:かっこいい…見習いたいです。私も、
一応英語で勉強したり YouTube を英語で
聞き流したりしているのですが、聞き流せ
るからこそ、わからない単語が出てきても
そのまま流して終わってしまうんですね。
「わからない」ということを大事にしてちゃ
んと向き合うと、すごく深い快感や学びが
ありそうです。

前田:一単語だけわからないくらいだった
ら聞き流しても良いのですが、今の僕はあ
まりにも発展途上すぎるので、一つひとつ
ちゃんとやらざるを得ないんですよ。例え
ば、自分の中国語を録音して、自分でも
聞くというのを毎日やったり、たまに中国の
友達に送ってフィードバックをもらったりし
ます。今の AI 時代に、効率性ばかりを気

ゲスト
前田 将吾

マスター
今庄 湧希

本日の一杯



中国茶
石古坪烏龍
(せきこへいろうろん)

にする人は語学なんてしないかもしれませんが。でも、僕は単純に楽しくて面白いからやっていて、中国語を勉強する意味なんて考えたことがないんです。「なんで自分は、AIで一瞬でできることに、こんなに何十時間も何百時間もかけてやっているんだろう」と改めて考えると自分でもわからないし、将来の自分が見たらもったいない時間の使い方だと思われるけれど、今やっていて楽しいのでいいやと思っています。趣味って、やる意味を意識せずに没頭できることなんじゃないかな、と。

今庄：意味を超えて没頭できるっていいですね。ずっと同じ勉強をずっとやっているのと、退屈して飽きたりはしないんですか？

前田：同じことをずっとしていたら飽きちゃうので、勉強の仕方を変えることで、退屈をマネジメントしています。教科書で勉強していて飽きたと思ったら本を読もう、本も飽きたら音楽を聴こう、音楽も飽きたらドラマを観よう…という風に、中国語という刺激の形をローテーションして変えていくイメージです。中国語という刺激を生活の空気としてずっと浴びていきたいので、素材を色々変えながらやっています。僕は、中国語の環境にいるときの自分のことが好きだから、できるならずっとそうしていきたい。中国語を話しているとおおらかで思い切りが良い性格になるので、そういう自分の方が好きなんですよね。仕事ではずっと“日本語の自分”をやっている分、仕事以外では日本語をやめて、“中国語の自分”にスイッチしています。早く家に帰って中国語喋りたくなってきました（笑）

今庄：そういえば、最近遅くまで残っている日も多いようですが…前田さんの仕事でのやり込みポイントについてもお聞きしたいです。

前田：忙しいのはみなさん一緒だと思うの

ですが、なんか僕は必要以上にちゃんとやってしまってるのかもしれませんが。やり込みポイントと言えるかわかりませんが、「説明責任を果たす」ことは、仕事において最も大事にしていることです。自分が出している資料やアウトプットについて、説明できない箇所があるのがすごく嫌なんです。多分、前職での経験が大きいと思います。前の仕事では、自分が書いてない資料について他者に説明する仕事も多くて、「なんでこう書いたの?」「これってどういうこと?」って言われたときに、「わかりません」と答えるのがめちゃくちゃストレスだったんです。

それで、自分の出す資料については100%説明できるように、できるだけ自分で手を動かして、自分で言語化して、自分がこれでいいと納得したものしか出したいと思うようになりました。だから、細かいところまで考えちゃうし、間違えがないか何度も確認しますし、AIを使っても自分の目で全部確認して手を入れないと嫌だし…そうしているうちにいつの間にか時間が経っていて。でもこれは、仕事をする上で当たり前の、皆さんもされていることだと僕は思っているの、なんとか効率化しないと悩んでいます。

今庄：私も前職でコンサルティングやっていた時は、考え方を示すのが仕事でそれに対してお金をもらってたので、説明責任を果たすという考え方、分かる気がします。そのレベルで仕事をやりこむというのは強みにもなりそうですね。

前田：前職の影響でいうと、人とのコミュニケーションで情報を引き出すことは、割と得意な方だと思っています。人と話したり質問したりするのが、もともと好きなんですよね。

今庄：確かに、前田さんの質問は、普通とはちょっと違う良い意味で斜め上の視点で面白いんですよね。どういう風に考えながら

質問されているんですか？

前田：「相手が深掘りしてほしいようなポイント」を探すということは常に考えていますが、他とは違う視点というところに関しては、実はあまり意識していないですよ。多分、面白いと思うポイントが周りの人とズレているので、自分が面白いと思うところを深掘りしていったら自ずと他と違う切り口になっているんだと思います。「答えがつまらないのは、たいていの場合は質問がつまらないから」だと、僕は思っています。質問って、いわば「今からこの人のこの部分を切り取ります」という枠を設定しているようなもので、その枠がずれていたら当然返ってくる答えもつまらなくなってしまう。だから、自分が質問したことに對する答えが面白いと嬉しいし、最初は面白くなかった話が違う角度から質問をすることで面白くなるのを見るのも好きです。でも、仕事の場であまり変な質問をするわけにはいけないので、プライベートや会社の飲み会などのカジュアルな場でしか活かせられていないのが、ちょっと残念なところですよ（笑）

今庄：それは立派な質問の技術ですね!前田さんの横にしばらく張り付いて学びたいです。

…と、もっと色々教えていただきたい気持ちは山々ですが、閉店のお時間になってしまいました。今夜は、プライベートの中国語のやり込みから、仕事のやり込みまで、非常に深い話を聞かせていただきありがとうございます。前田さんのお話をお聞きして、「参考にする」とか「真似する」とかいう次元より自分のもっと深いところの流れが大きく動いたような感覚です。私も改めて語学

の深みにハマりたくなりました。最後に、今回のゲストを指名していただけますか。

前田：そうですね… 齋藤さんのやり込みを聞いてみたいです!

今庄：次回もまた楽しいお話が聞けそうで楽しみです。前田さんも、ぜひまたのご来店をお待ちしています。今夜は素敵な時間をありがとうございました!

前田将吾のやりこみキーワード

暗記は贅沢な脳の鍛錬

やる意味を意識せずに没頭するのが趣味

退屈をマネジメントする

自分の仕事へ説明責任を果たす

答えがつまらないのは質問がつまらないから

しんいちろう

山下 真一郎

―学生時代から、企画・開発と設計を両立しながら学ばれていた印象を受けるけど、就職活動はどんな感じで進めたの？

僕が「建築学科は、一般的建築学科とは少し違って、全員が建築「デザイナー」を学ぶような環境でした」「固定概念を壊せ」というような自由度高い授業が多かったし、ゼミの教師も「キャンパスに行っても自然から学べない」というような放任主義で、伸び伸びとした環境でした。

大学院という星のランドスケープを専攻し、長谷川先生という星のランドスケープなどを設備設計した先生のもとで学びました。形だけで語れるようなシステムではなく、図式やコンセプト文などにも駆使して、要するにこのデザインによって社会に何をもらいたか、ユーザにどのような気持ちにならしてほしいか、を伝える重要性を教わりました。

「まずは学生時代の話聞かせてね。武蔵野美術大学（以降「武蔵美」）で建築を専攻してたみたいけど、どんな学生時代を過ごしていたのかしら？」

「11 社目では、具体的にどのような仕事をしていたのかしら。」

新卒で入社した会社では、ホテルからオフィ

2社目ではシアオファイスの企画・開発
 PM・リーシングを一気通貫で経験し、その後
 3社目では地域のためのまちづくりに関わりま
 した。そんなキャリアの中から改めて「自分が好
 きたものは何だったか」と自問した時、一周分
 で自分はやっぱりデザインが好きなんだという
 ことを再認識したんです。

そう考えていたところに、水曜からお声かけを
 いたただいて。デザイン重視の会社を行っている
 星なら、美大出身のデザイナーへのこだわりと
 不動産・建築で培ってききた企画・設計の経験と
 自分自身の好みもキャリアもすべて統合でき
 るのではないかと思いました。

1. その後、2社目にオフィス仲介系不動産会社、3社目にまちづくり系不動産会社と、徐々に「企画・開発」のレイヤーへ移っているように感じるわね。

分野において、企画・設計・施工まで幅広いサービスを提供して、企画・設計を一貫して手がける会社です。最初の頃は設計士として、オフィスやホテルの建築、内装の基本設計や実設計が主な仕事でした。

そんな中でコロナ禍がやってきて、経営的には大きな影響を受ける一方、企画部には、既存施設の業態轉換や時代の変化に合わせた活用方法の設計、リサーチ依頼が増えたと。設計士だけでなく、手伝いがやってみる、という声がかかり、パート役として企画部に、精リサーチや提案書の整理をやっていたそれが案じて、自分は設計より企画の方が向いていて」と確信し、企画系への転換を志しました。

これからの個人的な野望としては、「農業」や「地方創生」などのデザイン力がまた十分に入り込んでいない分野での事業にも挑戦したいです。例えば、デザイン性の高い農家民泊だったり、菜園付き別荘など、ブランディングの力で新しい価値を作るような仕事なんかができたら最高ですね。

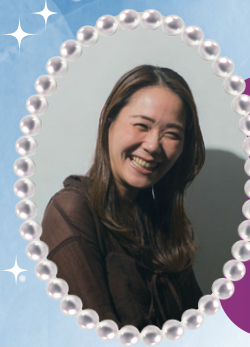
水星はいろいろな業界出身の人がいて、それぞれ得意領域が違ってくるのが面白く感じています。一方、全員のプロジェクトマネージャーみたいな部署ではあるが、業務領域が重なる部分も多く、チームの中で「これは向こうがやると思っていました」「みだりにお見合い状態が起きやすい構造もあるなとは思っています。お見合いを防ぐために、今は、どうすればクリエイティブ力を最大化できるかを考え、それぞれ役の劃分拒の明確化だったり、「コミュニケーションの交通整理」を心掛けています。

今月のママの一曲

「This Must Be the Place (Naive Melody)」
- Talking Heads



企画・設計・運営を軽やかに行き来するあなたへ。
複数の役割や居場所を行き来しながら、それでも
自分の重心を失わない感覚を思い出させてくれる一曲。



今月のお悩み相談 **田井中 美鈴**さん

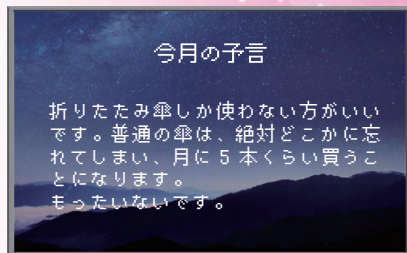
私は重度の「活字アレルギー」です。文章がびゅうりり並んでいると、脳が「今日は営業終了です」とシャッターを下ろします。仕事終わりに疲れた脳と一緒に居酒屋へ行ってメニューが多すぎると、面倒になりオスメメニューばかり頼んでしまいます。本はもちろん、漫画ですらほとんど読みません。こんな私でも、活字を楽しく読めるようになる方法はあるのでしょうか？

読書好きになるためのアドバイスをください！



オーラが見える

マダム・モーハさん



今月の予言

折りたたみ傘しか使わない方がいいです。普通の傘は、絶対どこかに忘れてしまい、月に5本くらい買うことになります。もったいないです。



こんなことを言っただけですが、もともと読書は向いていないオーラが出ています。

メタ的な節があるので、おそらく村上春樹作品なんかを読み始めた暁には、頭の中がはてなだらけになることでしょう。

なので「読書を好きになる」のは諦めて、「活字を楽しく読めるようになる」方を目指すのが良いです！そのためにはまず、文字を見たら頭の中でリアルで立体的なものを想像することから始めると良いかも。

次に居酒屋に行った時は、「厚切りベーコンのポテトサラダ」→どんなお皿でどんな量？
ビジュアルはどんな感じがな→頼む / 頼まない のステップを踏んでみてください！

めんどくさかったらもう諦めて！

水星図書館へようこそ。

水星で働く私たちが日々の仕事や旅、暮らしの中で出会った本を紹介する
選書コーナー。

ビジネス書や小説、エッセイ、アートブックまで、
ジャンル問わず「今誰かに勧めたい一冊」をピックアップ。

あなたの心に、新しい景色を届ける本と出会えますように。

本日のゲスト

HOTEL SHE, KYOTO

鈴木 淳平さん

1

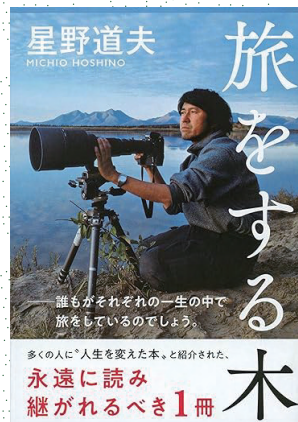


goat

小学館が発行する文芸誌

文芸誌です！
テーマに沿ったエッセイや小説が詰まっ
ていて、様々なクリエイターたちの熱量
を感じられる一冊。しかも510円の手頃
さ！
最近がっつりと小説とか読んでない人に
こそおすすめ。

2



旅をする木

星野道夫

私の「旅っていいな～」の根源的存在。
アラスカの豊かな自然を通じて、旅と日
常の境界がぼけ、心がゆっくり整って
いくような読後感が魅力。
ふとどこかに行きたくなります。

3



運を支配する

桜井 章一、藤田 晋

最近旧友とオンライン麻雀をした時に話
題になった、藤田社長と桜井章一さんの
共著。サクッと読めるのに中身が濃く、
何度も読み返したくなります。
運は偶然ではなく思考と行動で設計でき
る、と教えてくれる一冊。

永田司書からひとこと

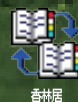
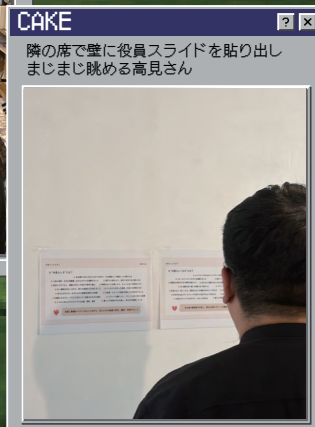
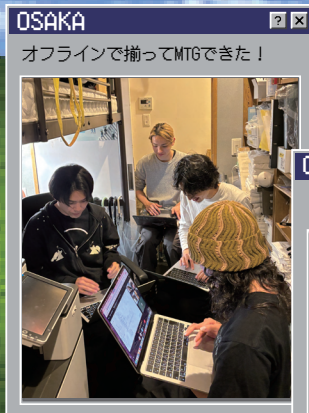
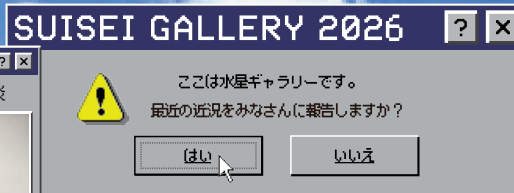
自分の人生のバイブル（面白さは別として、人生を通
して何度も読み返したいと思っている本）は現時点で
2冊あるのですが、「運を支配する」がそのうちの1冊
でした。

タイトルが胡散臭いのであまり他人に薦めておらず、
今後あまり紹介できないと思っていたのでここで出
会えてとても嬉しいです。

せっかくなのでもう一冊も紹介すると、これまた自己
啓発チックで俗っぽくて恥ずかしいのですが「人望が
集まる人の考え方」です。変えたくないことを固定す
るための装置として本を使うのもまた良いですね。



本との出会いが、毎日を少しだけ豊かにしてくれる。



SUISEI GALLERY 2026

Suisei Friends

profile

-わたしの基本情報-

わたしの名前は 武井 勇也 。

1996 年 5 月 1 日生まれの 29 歳。

血液型は O 型でみんなから タケイサン って呼ばれてるよ。休みの日は 走る、飲みに行くをしてるかな。普段は ソフトウェアの開発 のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと 好奇心旺盛 かな。よろしくね★



趣味

ランニング、トレラン、
プログラミング、
釣り、サウナ

特技

エピソードについての
記憶力がいいです

出身地

愛媛県
松山市

配属先

CHILLNN

マイブーム

生成 AI

My Favorites

-わたしの好きなもの-

食べもの

牛タン

場所

海が好きですね

ホテル

飛騨高山
ホテルアソシア高山リゾート

音楽

坂本龍一とか...

本・雑誌

宇野常寛さんの本は
欠かさず読んでますね

映画

戦場のメリークリスマス
が好きです

色

カーキー色

お店

天一

有名人

東出



MY ここに好きなテーマを入れてね

好きな富野由悠季作品

BEST 3

No.1

Z ガンダム

No.2

リーンの翼

No.3

閃光のハサウェイ

MY
fave talk

★わたしの推しトーフ★

推しの名前は？
(モノ・人・ブランドなんでも！)

おろちゃんゆー

推しの好きなどころは？

ルナティックな野食精神

推しのセールスポイントは？

大蛇丸のモノマネ

Questions

- じぶんについて答えてね -

今いちばん欲しいもの

土地

今いちばん行きたい場所

チベット

今いちばん泊まりたいホテル

青風

今いちばんチャレンジしたいこと

フルマラソン

3 ねん後の夢

子育てとお仕事の両立できるパパになる

10 ねん後の夢

限界集落に村を作る

最近の旅行の思い出

ベトナム旅行

学生時代の旅行の思い出

北海道旅行

IF...!?

- タイムトラベルできるなら
いつの時代に行く? -

未来に行きたいけど、
選べるならば日露戦争くらいの時代

- あなたならどうする!? -

- なんでもひとつ能力を
持てるとしたらなに? -

ベクトル操作
(空も飛べるし、ビームも打てる)

- 架空のキャラフターを
現実世界に呼ぶなら誰? -

釈迦とかですかね...



Suisei Friends

profile

-わたしの基本情報-

わたしの名前は 萩原 萌々香 。

2000 年 1 月 30 日生まれの 26 歳。

血液型は O 型でみんなからはぎちゃん って呼ばれてるよ。休みの日は自転車に乗ってぶらぶらをしてるかな。普段は ホテルづくりのアシスタント のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと マイペース かな。よろしくね★



趣味

紙ものを集めてスクラップ
(映画ポスターやチケットなど)

特技

クラリネットで即興演奏
(相対音感)

出身地

京都

配属先

プロデュース事業部

マイブーム

djayでDJの練習
F1

My Favorites

-わたしの好きなもの-

食べもの

パエリア、梨

場所

京都御所の自然

ホテル

house hold、DDD

音楽

New Jeans、東京事変

本・雑誌

HIGH(er) magazine
村上春樹

映画

perfectdays
リリィシュシュのすべて

色

グレー、ネイビー

お店

2f

有名人

特にいない



MY ここに好きなテーマを入れてね

好きな曜日

BEST 3

No.1

土曜

No.2

金曜

No.3

月曜

MY fave talk

★わたしの推しトーフ★

推しの名前は？

(モノ・人・ブランドなんでも！)
犬と散歩している人

推しの好きなのところは？

飼い主とわんちゃんが似ているところ

推しのセールスポイントは？

やっぱり飼い主とわんちゃんが似ているところ

Questions

-じぶんについて答えてね-

今いちばん欲しいもの

自分に合った枕

今いちばん行きたい場所

ほったちの落ちるくらい美味しい鮎屋

今いちばん泊まりたいホテル

リッツカールトン京都
(ハイレベル接客を体験したい)

今いちばんチャレンジしたいこと

陶芸、いろんなホテルに泊まる

3年後の夢

ヨーロッパ周遊、ファームステイ

10年後の夢

週末に仲間と飲みながら
家でゆっくりできる生活

最近の旅行の思い出

韓国！同じエリアに3日連続行った

学生時代の旅行の思い出

初海外のオーストリア。
世界大会に出たこと。
(自由時間は1/7日)

IF...!?

-タイムトラベルできるなら
いつの時代に行く？-

江戸末期

-あなたならどうする！？-

-なんでもひとつ能力を
持てるとしたらなに？-

-架空のキャラフターを
現実世界に呼ぶなら誰？-

ドラえもん

手から花出せる

